

事業の概要

担当課：道路整備課

事業名	快適で安全な道づくり事業		事業主体	栃木県
事業箇所	一般国道461号 ^{おおひら} 大平工区 ^{なかがわ} 那珂川町 ^{おおうち} 大内			
事業の目的、事業発案の経緯・背景 一般国道461号は、本県日光市を起点とし、那珂川町を經由して茨城県高萩市に至る広域的な幹線道路であり、地域間の連携・交流を促進する重要な役割を担っている。また、災害時に救援活動や物資輸送に利用される第1次緊急輸送道路である。 しかしながら、本事業箇所は、幅員が狭く、大型車のすれ違いが困難であるうえ、交差点付近においては、道路線形が屈曲し、見通しが悪いことから、安全で円滑な交通の確保が求められている。 このため、沿道の土地利用状況や地形条件、経済性、施工性等を比較検討した結果、バイパスを整備することとし、安全で円滑な交通を確保するとともに、地域間の交流・連携機能の強化を図るものである。				
事業内容 ・大内交差点前後の整備済区間を結ぶ、現道南側のバイパスを整備する。 ・車線数は、計画交通量に基づき2車線とする。				
・総延長：960m ・計画交通量：4,000台/日 ・道路区分：第3種第2級 ・車線数：2車線 ・標準幅員：11.0m（車道3.25m×2、路肩1.0m×2、歩道2.5m×1） ・主要構造物：橋梁3橋（1号橋：橋長L=35.8m、2号橋：橋長L=26.3m、3号橋：橋長L=18.4m）				
事業予定期間	令和5年度～令和9年度（予定）	事業見込額及び内訳	総事業費	約16億円
	【事業スケジュール（予定）】 構造物詳細設計：令和5年度 用地調査：令和5年度 用地取得：令和6年度～令和7年度 工事実施：令和7年度～令和9年度		事業費内訳	測量設計費：約 1億円 用地補償費：約 1億円 工事費：約 14億円
			財源内訳	国費：50% 県費：50%
事業概要図 別紙記載				
県計画への位置付け ・「県土づくりプラン2021」：重点施策「成長を支える広域道路ネットワークの充実・強化」に位置づけられている。 ・「とちぎの道路・交通ビジョン2021」：「その他広域道路」に位置づけられている。 ・「栃木県地域防災計画」：第1次緊急輸送道路に指定されている。				
他計画・他事業との関連 ・「那珂川町都市計画マスタープラン」：都市基軸として位置づけられている。 ・一般国道461号大山田下郷工区 R2～R7（予定） ・都市計画道路3・4・2号氏家大子線那珂川町馬頭工区（街路） H27～R7（予定）				

事業の評価

評価の視点	1 事業の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域間の交流・連携機能の強化を図るため、本路線の整備が必要である。 ・現道は、幅員が狭小で大型車のすれ違いが困難であることから、安全で円滑な交通を確保する必要がある。 ・緊急輸送道路に指定されている一般国道461号の防災機能の向上を図る必要がある。
	2 事業の適時性 (今事業に着手する理由等)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業中の本工区北側の大山田下郷工区及び西側の主要地方道那須黒羽茂木線の馬頭工区(街路事業)が令和7年度に供用を予定していることから、道路ネットワークとしての効果を早期に発現させるため、整備に着手する必要がある。
	3 事業の適地性	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートの設定に当たっては、沿道土地利用、地形条件、経済性、施工性などを総合的に比較検討し、大内交差点前後の整備済区間を結び、現道南側のバイパスを整備する。
	4 事業手法の適切性 (県が事業主体となる理由等)	<ul style="list-style-type: none"> ・一般国道461号のバイパス道路であり、道路管理者として県が事業を実施する。
	5 事業により予想される効果及び影響	<p>○投資効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・費用便益比(B/C) 1.2 ・総便益(B) 15.8億円 ※供用後50年間の効果を金銭に換算したものの走行時間短縮(13.8億円)、走行経費減少(1.8億円)、交通事故減少(0.2億円) ・総費用(C) 13.3億円 ※建設費と供用後50年間の維持管理費を含む <p>○広域道路ネットワークが強化され、地域間の交流・連携の促進が図られる。</p> <p>○道路幅員が確保されるとともに、屈曲な線形が改良され、安全で円滑な交通が確保される。</p> <p>○災害時の救援活動や物資輸送を支える道路ネットワークの機能が強化される。</p>
	6 事業コスト縮減等の可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁や函渠など主要構造物においては、工法の比較検討を行い、コスト縮減を図る。 ・再生材の利用や、建設発生土の公共工事間流用に努め、コスト縮減を図る。
事業の対応方針(案)		本事業については、令和5年度より着手する。

①見通しが悪く、危険な交差点（現道）

大内交差点東側付近



②幅員が狭く、車両のすれ違いが困難（現道）

大内交差点西側付近



一般国道461号

おおひら
大平工区

おおうち
那珂川町大内

位置図



(国)461号 大平

道路現況表 (平成21年4月31日現在)

道路種別	延長(km)	改良率(%)	舗装率(%)	舗装延長(km)	舗装率(%)
国道	150.1	100.0	100.0	150.1	100.0
県道	903.7	99.8	98.7	900.7	99.7
市道	199.4	100.0	100.0	199.4	100.0
町道	704.3	98.3	98.3	701.3	99.6
村道	2,466.2	2,466.0	88.1	2,174.7	88.2
合計	5,929.7	98.7	92.1	5,646.2	95.2
舗装率(自動車専用)	1,583.4	1,287.6	91.4	1,241.1	98.1
一般道	1,400.0	1,100.0	78.6	1,262.4	90.2
幹線(自動車専用)	53.3	42.5	79.7	42.5	98.8
合計	3,936.7	3,429.1	88.8	3,067.5	97.1
25年度計画整備道路	3,408.8	3,037.8	87.1	3,383.3	96.8

(注) 橋本駅周辺道路は平成15年度整備完了後、平成21年度計画整備中。

路線一覧表

- ① 新橋線
- ② 京浜東北線
- ③ 山手線
- ④ 有楽町線
- ⑤ 丸の内線
- ⑥ 丸の内線
- ⑦ 丸の内線
- ⑧ 丸の内線
- ⑨ 丸の内線
- ⑩ 丸の内線
- ⑪ 丸の内線
- ⑫ 丸の内線
- ⑬ 丸の内線
- ⑭ 丸の内線
- ⑮ 丸の内線
- ⑯ 丸の内線
- ⑰ 丸の内線
- ⑱ 丸の内線
- ⑲ 丸の内線
- ⑳ 丸の内線
- ㉑ 丸の内線
- ㉒ 丸の内線
- ㉓ 丸の内線
- ㉔ 丸の内線
- ㉕ 丸の内線
- ㉖ 丸の内線
- ㉗ 丸の内線
- ㉘ 丸の内線
- ㉙ 丸の内線
- ㉚ 丸の内線
- ㉛ 丸の内線
- ㉜ 丸の内線
- ㉝ 丸の内線
- ㉞ 丸の内線
- ㉟ 丸の内線
- ㊱ 丸の内線
- ㊲ 丸の内線
- ㊳ 丸の内線
- ㊴ 丸の内線
- ㊵ 丸の内線
- ㊶ 丸の内線
- ㊷ 丸の内線
- ㊸ 丸の内線
- ㊹ 丸の内線
- ㊺ 丸の内線
- ㊻ 丸の内線
- ㊼ 丸の内線
- ㊽ 丸の内線
- ㊾ 丸の内線
- ㊿ 丸の内線

大平工区
R5~R9(予定)
L=960m

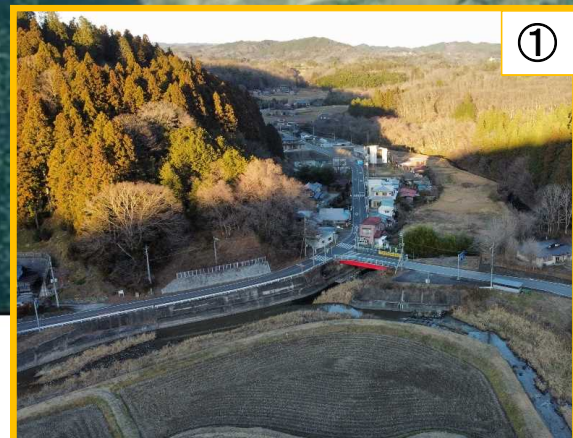
(国)461号
第1次緊急輸送道路

盛谷川

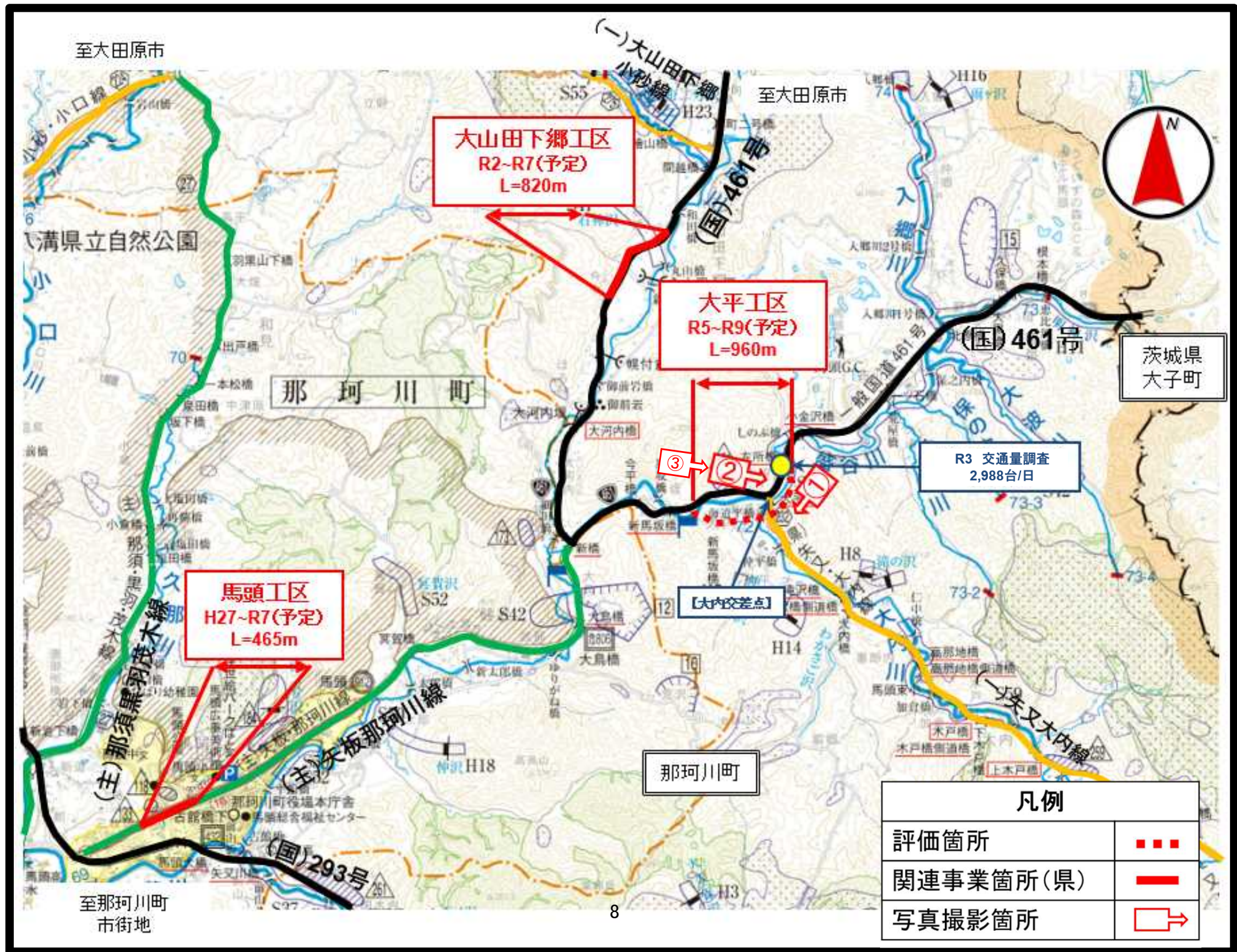
大内川

大内川

(一)矢又大内線



- 一般国道 (指定区間外)
- 主要地方道
- 一般県道
- 土砂災害警戒区域 (急傾斜)
- 土砂災害警戒区域 (地すべり)



大山田下郷工区
R2-R7(予定)
L=820m

大平工区
R5-R9(予定)
L=960m

馬頭工区
H27-R7(予定)
L=465m

R3 交通量調査
2,988台/日

凡例	
評価箇所	●●●
関連事業箇所(県)	—
写真撮影箇所	→

①見通しが悪く、危険な交差点（現道）

大内交差点東側付近



②幅員が狭く、車両のすれ違いが困難（現道）

大内交差点西側付近

至 茨城県
大子町



至 那珂川町
市街地

③幅員が狭く、車両のすれ違いが困難（現道）
大内交差点西側付近

